

## 社会デザイン科学専攻 境界・学際領域科目

| 英語<br>対応 | 科目名 (単位)   | 授業の概要   |
|----------|--|---|
|          | 地域社会デザイン学分析<br>展開論:実践を問い、現場<br>に還す (1単位)<br>Designing Local Society            | コミュニティデザイン学プログラムと農村・農業経済学プログラムが対象とする計2か所の現場に足を運び、それぞれの現場での実習を通じて、地域社会の現状と課題について理解を深めるとともに、現場の多様な実践を問い直し、現場に還して展開できる能力を養成する。   |
|          | 地域デザイン工学プロジ<br>ェクト (1単位)<br>Project Work in Regional<br>Design and Engineering | 総合的トレーニングの題材として建築プロジェクトを取り上げ、地域デザインのプロセスを学ぶ。建築設計の分野(建築士試験の実務経験とする場合)では、一級建築士の資格を有し、建築設計実務に精通した教員の下での実施を前提とした建築プロジェクトに従事する。  |
|          | 地域デザイン工学インタ<br>ーンシップ (1単位)<br>Internship in Regional<br>Design and Engineering | 地域デザイン工学に関する企業等の協力の元、実習を通じて、総合的な実務経験を積むとともに倫理観を養成する。建築設計の分野(建築士試験の実務経験とする場合)では、建築士または建築設備士の指導を受け実務を体験するものである。   |
| ○        | Communication Skills for<br>Engineers (1単位)                                    | 各学生の修士論文研究をプロポーザル形式にまとめる。研究分野の近い学生がグループを形成し、途中経過をグループ内でピアレビューする。  |
| ○        | グローバル・エリアスタ<br>ディーズ総合講義<br>(1単位)<br>Comprehensive Global<br>and Area Studies   | グローバル・エリアスタディーズプログラムでの学修に必要な共通知識を養成し、国際的な事象を普遍的な視座と地域の固有性への深い知識に基づいて理解・分析・対処する能力を獲得するため、グローバル・エリアスタディーズプログラムの二つの領域(「グローバル・スタディーズ」と「エリア・スタディーズ」)を架橋し、本プログラムの体系的知識を身につけることを目的とする。授業では、本プログラムで用いられる多様な分析手法を複合的に用いることで可能となった研究成果を、研究論文や学会発表等の具体的な事例に基づき、解説する。特に、本プログラムの基礎となる、普遍的な視座に基づく国際的な事象の把握方法、数理分析の活用方法、国際開発援助の具体的方法、地域の固有性を析出する手法について、実際の研究事例に基づいて学習する。 |
|          | 共生社会論 (2単位)<br>Lecture on 'Society for<br>all'                                 | 近年、日本でも、定住する外国人の増加や2020オリンピック・パラリンピックを契機として多文化共生社会推進の機運が高まっている。多文化共生社会の前提として、子どもの権利条約や国連障害者権利条約にあるように、社会を構成するすべての人々の基本的な人権が守られ、様々な立場にある人々がともに安心して暮らせる社会を実現するための法制度を整備するだけでなく、当事者の声に耳を傾けることからともに生きる=共生のナラティブ(物語)を構築していくことが必要である。このような問題意識から、本講義では共生社会の社会的、歴史的背景や法制度について理解したうえで、多様な分野に触れることにより、国内外における文化的・社会的多様性を理解し、共生社会、とくに様々な問題の当事者との共生の物語の探求を深める。       |

| 英語<br>対応 | 科目名 (単位)   | 授業の概要   |
|----------|--|---|
|          | 地域人間発達支援の実際<br>と課題 (1 単位)<br>Literacy of Community &<br>Human Development<br>Promotion | <p>地域の創造性と持続可能性を支えるのは人であり、その人を育てるのは地域の教育力である。しかしながら、地域力の低下、地域の間関係の希薄化、少子高齢化により、多様な地域支援のあり方と人材育成の方法を模索していく必要がある。本プログラムは、地域支援に欠かせない人材を、人間の根源的な発達における諸課題をベースに、多様な教育的視点から育成することを目標にしている。本授業は、心理・教育学系、環境・身体・健康科学系、言語・表現系の3つの専門領域における学術的なトピックスをクロスオーバーさせながら、地域創造の諸課題と地域支援のあり方について理解を深めるための導入的講義・演習等を行う。</p> |